



独立行政法人

大学改革支援・学位授与機構

National Institution for Academic Degrees and Quality Enhancement of Higher Education

機構ニュース

Vol.205 2020 July

今月の記事

Top News

- 野田文香准教授の編著書が「大学教育学会 JACUEセクション2020」に選定される

.....1

機構の窓

- 新型コロナウイルス感染拡大に関連した対応について

.....5

学位授与事業

短期大学・高等専門学校卒業者等を対象とする単位積み上げ型の学位授与関係

- 令和2年度10月期申請について

.....2

主要行事日程

- Schedule (8月～9月)

.....6

質保証連携

国内外の質保証機関等との連携

- RecoASIA ウェビナー「Effects of COVID-19 on Higher Education and Recognition」に参加

.....3

外国の高等教育、質保証、資格等に関する情報発信

- 令和2年度大学質保証フォーラムをオンライン開催

.....4

TOP NEWS

○ 野田文香准教授の編著書が「大学教育学会JACUEセクション2020」に選定される

2019年11月に刊行された『欧州の教育・雇用制度と若者のキャリア形成－国境を越えた人材流動化と国際化への指針－』（藤本昌代・山内麻理・野田文香編著）が、「日本の課題を浮き彫りにする上で貴重な資料となり得る」として大学教育学会「JACUEセクション2020（2019年度認定図書）」に選定されました。

同書は、ボローニャ・プロセスを背景として、大陸ヨーロッパの教育制度・雇用制度・キャリアを巡る最新の動向や相互作用を経済学、政治学、社会学、教育学の観点から分析し、日本における人材流動化と国際化との関係を展望する論文から構成されています。野田准教授は欧州の高等教育改革についてボローニャ・プロセスが目指す「調和」と「標準化」の間に揺れ動く欧州の実情や課題を論じ、ツールの活用法や雇用可能性についての課題が残ることを指摘しています。さらに、章を改め、フランスの高等教育と学位・免状・資格制度を巡って「国際競争力」と「職業専門化」を主たる課題とするフランスに焦点をあて、学歴インフレの中での学位・資格の整理や質保証制度改革について紹介しています。



学位授与事業

短期大学・高等専門学校卒業者等を対象とする単位積み上げ型の学位授与関係

○ 令和2年度10月期申請について

学位授与申請は、毎年度2回（4月期と10月期）受け付けており、次回の申請は、令和2年度10月期申請となります。

- ・ 申請に関する詳細については、当機構ウェブサイトの下記ページに掲載している『新しい学士への途（令和2年度版）』をご覧ください。

https://www.niad.ac.jp/n_gakui/application/shinseishiryoku.html

（トップページ > 学位の授与 > 新しい学士への途、申請書類等）

- ・ なお、申請には『学位授与申請書類（令和2年度版）』の冊子が必要となりますので、上記ページよりご請求ください。

※ 申請書類等は日数に余裕を持ってご請求ください。

質保証連携

国内外の質保証機関等との連携

○ RecoASIA ウェビナー「Effects of COVID-19 on Higher Education and Recognition」に参加

2020年5月27日、新型コロナウイルスを取り巻く状況の中で公平な資格承認を実現していくための地域的協力の促進や情報共有を図ることを趣旨としたウェビナー「Effects of COVID-19 on Higher Education and Recognition」がユネスコバンコク事務所とイタリアの学術移動・同等性センター（CIMEA: Associazione CIMEA）の共催により開催され、当機構の高等教育資格承認情報センターから堀田センター長をはじめ計5名の教職員が参加しました。

本ウェビナーはアジア圏の資格承認にかかる協力関係を促進させることを目的に、イタリアのCIMEA等の主導により2019年11月より実施されているRecoASIA（Regional Cooperation in the field of recognition among Asian countries）プロジェクトの枠組みで実施されたものであり、ウェビナーには正パートナー国及び準パートナー国の政府や高等教育機関から約200名の関係者が参加しました。なお、当センターはRecoASIAプロジェクトに準パートナーとして参加しています。

ウェビナーでは、CIMEA局長であり、リスボン規約委員会会長でもあるLuca Lantero氏より欧州及びイタリアにおける新型コロナウイルスによる高等教育への影響や今後の課題について報告があったのちに、アジア8カ国（カンボジア、中国、日本、モンゴル、韓国、スリランカ、タイ、ベトナム）の代表者から各国の状況について報告がありました。日本からは堀田センター長が、日本の大学等における授業の実施状況や実施方法をはじめ、日本の高等教育への影響について現状報告しました。報告を行ったアジア各国代表者の多くからは、今回の新型コロナウイルスの感染拡大により、対面授業の中止が余儀なくされ、オンラインでの授業への移行が進められているものの、オンラインでの授業を担う教員の確保・育成、学生のオンライン環境の整備、またオンラインで行った授業の成績評価の方法など、多くの課題が聞かれました。

ウェビナーの最後には、堀田センター長から「コロナウイルスの影響により不利益を被っている学生が世界中に存在すること、またこの問題に対応していくことの重要性を確認した。」、またRecoASIAプロジェクトを主催するラクイラ大学（伊）のAnna Tozzi准教授から「これまではすべての学生が同じ時間に同じ場所に集まることを教育の基本としていたが、今後はコロナウイルスをきっかけとして時間や場所にとらわれない教育の在り方への転換が期待される。」と総括の言葉があり、盛会のうちに終了しました。

なお、当日の各発表者の資料・映像はRecoASIAプロジェクトのウェブサイトで公開中です。

<http://www.recoasia.eu/seminars-conferences/>

外国の高等教育、質保証、資格等に関する情報発信

○ 令和2年度大学質保証フォーラムをオンライン開催

令和2年9月23日（水）に令和2年度大学質保証フォーラム「東京規約と学びの多様性―資格承認の転換期」を、昨今の世界的な新型コロナウイルス感染症拡大の影響を踏まえ、オンラインで開催します。

国際的潮流として学びのあり方が多様になる中、2018年2月に発効したユネスコの「高等教育の資格の承認に関するアジア太平洋規約（通称：東京規約）」では、外国資格の評定は、「得られた知識及び技能に主たる焦点を合わせたもの」となることが規定され、これまでのような修業年限や学習期間などのインプット情報だけでなく、当該資格保有者が「何を身につけ、何ができるか」といったアウトカムに基づいて学修歴や資格を判断することが求められています。

今回のフォーラムでは、国内外の有識者を招き、資格承認を取り巻く加速度的な国際展開や、予測困難な環境変化に対して柔軟に適應することの重要性が明らかとなったポストコロナにおいて、日本はどのように対応すべきかについて議論を行います。

フォーラムへの参加登録については、本年7月下旬をめどとして、当機構ウェブサイトにてご案内する予定です。

機構の窓

○ 新型コロナウイルス感染拡大に関連した対応について

当機構では新型コロナウイルス感染拡大の状況に鑑み、政府により決定された「新型コロナウイルス感染症対策の基本方針」を踏まえて令和2年7月までに予定されていた機構主催の各行事について、以下のとおり変更や延期等の対応を行いました。

6月

開催予定日	行事名	対応	担当課
7日	令和2年度4月期学位授与試験（小論文試験・面接試験）	延期（面接試験 9月6日、小論文 試験9月13日）	学位審査課
30日	外国資格審査ワークショップ（大阪）	延期（時期未定）	国際課

7月

開催予定日	行事名	対応	担当課
7月上旬	大学機関別認証評価に関する説明会	ウェブサイトへ の資料掲載	評価支援課
7月上旬	令和3年度に実施する大学機関別認証評価に関する自己評価担当者等に対する研修会	ウェブサイトへ の資料掲載	評価支援課
2日	外国資格審査ワークショップ（東京）	延期（時期未定）	国際課

主要行事日程

○ Schedule

8月

日	行事名	担当課
21 日	学位審査会（令和2年度第2回）	学位審査課

9月

日	行事名	担当課
9 日～ 10 月 2 日	令和 2 年度 10 月期学位授与申請（データ入力）受付期間	学位審査課
23 日～ 10 月 3 日	令和 2 年度 10 月期学位授与申請（書類送付）受付期間	学位審査課



独立行政法人

大学改革支援・学位授与機構

National Institution for Academic Degrees and Quality Enhancement of Higher Education

